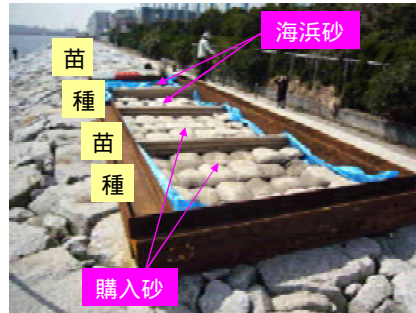
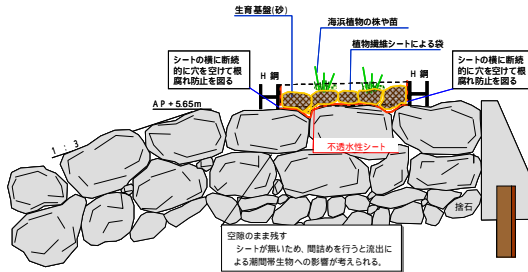


5. 護岸の緑化試験施工とモニタリング

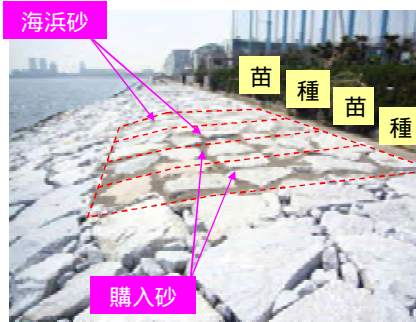
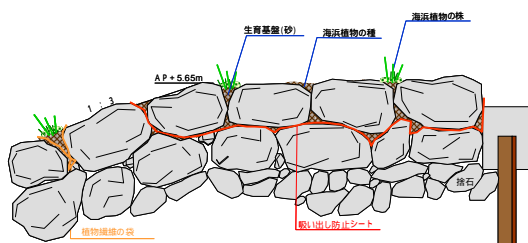
(1) 緑化試験の概要

項目	目的	方法	時期	数量等
緑化試験	<ul style="list-style-type: none"> 護岸構造を利用した基盤の形成方法を見出す。 石積護岸の立地環境に合う植物を確認する。 立地環境に合った緑化手法を見出す。 	発芽及び移植試験ヤードにおける種まき、植え込み後の観察	平成21年4月～平成23年3月	<ul style="list-style-type: none"> 発芽ヤードでは、発芽状況と種類、活着状況、他の植物の侵入状況、基盤の保持状況、天候を観察 移植ヤードでは、活着状況、他の植物の侵入状況、基盤の保持状況、天候を観察 観察頻度は4～9月は2週間に1回、10～3月は1ヶ月に1回

土嚢による緑化



砂の間詰めによる緑化



45

(2) 試験対象の海浜植物種

種まき: ハマダイコン、ハマヒルガオ、ハマニンニク、ハチジョウナ、イワダレソウ

平成21年
3月18日
実施(試験開始)

苗の移植: ハマダイコン(50本)、ハマヒルガオ(50本)、ハマニンニク(50株)、イワダレソウ(10本)、コウボウシバ(3本)

ハマダイコン



ハマヒルガオ



ハマニンニク



ハチジョウナ



イワダレソウ



コウボウシバ



試験に用いた種及び苗は、ふなばし三番瀬海浜公園(写真)で採取したもの。

試験対象種は全て多年草の海浜植物である。

46

(3) 観察結果

土嚢による緑化の経過

平成21年4月27日状況



平成21年9月4日状況



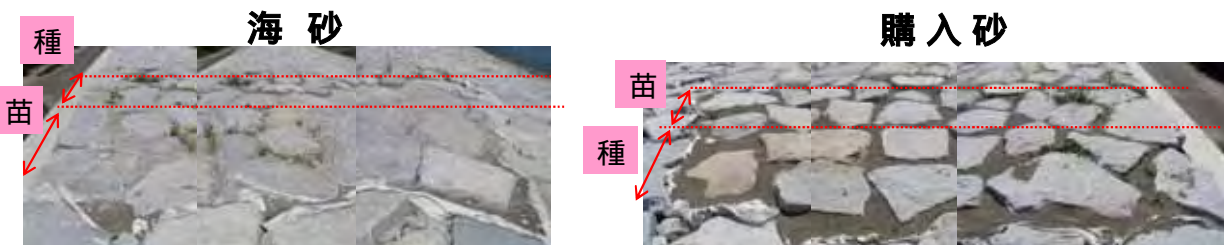
平成22年1月13日状況



- ・土嚢の劣化が目立つ。湿地性の侵入植物または混入植物がみられた。
- ・石の間詰め比べて試験対象種の生育が良くない。

石の間詰めによる緑化の経過

平成21年4月27日状況



平成21年9月4日状況



平成22年1月13日状況



- ・砂の種類によらず、ハマニンニク、ハマダイコンの発芽・活着が良好であった。
- ・1ヵ月後(H21.4)から雑草(以下、混入種または侵入種)が見られるようになった。